

紛争後の国家建設

日本国際政治学会編

序論 「紛争後の国家建設」	武内進一
国際社会の歴史的展開の視点から見た平和構築と 国家建設	篠田英朗
紛争後の国家建設の死角と国際社会の課題	西川由紀子
国家建設と非国家主体	古澤嘉朗
モザンビークにおける民主化の後退と 平和構築の課題	船田クラーク・センさやか
紛争と選挙、アイデンティティの相互連関	酒井啓子
二元化するイラクの石油産業	吉岡明子
ボスニア・ヘルツェゴビナにおける所有関係と 国家建設	片柳真理
ローカル・オーナーシップと国際社会による 関与の正当性	中内政貴
同盟と国家建設	岩間陽子
反乱軍の組織と内戦後の和平期間	大林一広
核抑止力の「自立」を巡るウィルソン政権内の相克	小川健一
〈書評〉	
ハーズィム・カンディール著 『兵士、スパイ、政治家』	田所昌幸
吉田真吾著 『日米同盟の制度化』	楠綾子
スティーブン・レヴィツキー、ルカン・ウェイ著 『競争的権威主義』	宮地隆廣